

2023年2月17日号掲載



## 各地の話題

## 大郷町

### 給食に新米のだて正夢



令和4年11月4日の大郷町学校給食に「だて正夢」の新米が登場した。

この取り組みは、子供たちに地元のお米に関心を持ち、いつもと違う品種のお米を味わってもらいたいと、町の学校給食センターが企画したもので、町内小中学校の2校に650食が提供された。

食事前に同町大松沢地区の栽培者である平井純夫さんへのインタビュー動画が放送され、お米を生産する喜びや苦勞、今年の収穫量などが語られた。

新米を食べた子どもたちからは「もちもちして美味しい」、「家で食べるご飯よりだて正夢の方が甘い」と大好評で、おかわりをする姿が見られた。

普段の給食では週4回米飯を提供し、県の栽培基準から化学肥料と化学農薬の使用を半分以下に減らして栽培した

「みやぎの環境保全米」の町内産ひとめぼれを提供している。

だて正夢は平成30年にデビューした宮城県の新品種で、県との登録栽培制となっている。今年度の町内では8戸の登録農家が計15haで栽培し、58tが出荷された。



【記事提供：大郷町農業委員会】